

令和3年度 大唐池 (1008029) + トトギ池 (1008061) + 溺池 (1008063) + 渡り池 (1008067) + 新池 (1008072) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】

ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。

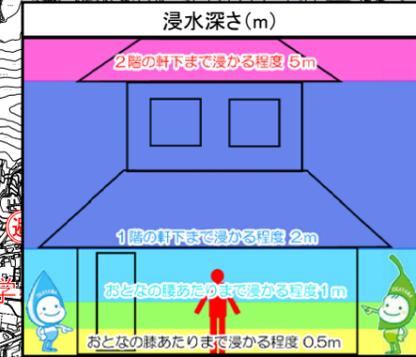


ため池諸元	
番号	331008029
旧番号	-
名称	大唐池
堤高	4.9 m
貯水量	5.7 千m3
番号	331008061
旧番号	-
名称	トトギ池
堤高	7.1 m
貯水量	46.4 千m3
番号	331008063
旧番号	-
名称	溺池
堤高	8.8 m
貯水量	68.7 千m3
番号	331008067
旧番号	-
名称	渡り池
堤高	3.3 m
貯水量	1.5 千m3
番号	331008072
旧番号	-
名称	新池
堤高	4.4 m
貯水量	2.6 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合



凡例	
	ため池
	避難所
最大水深	
	5.0m以上
	2.0m~5.0m
	1.0m~2.0m
	0.5m~1.0m
	0.5m未満

